

Ⅲ 2023年10月 大王製紙(株) 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

※太枠内は今回測定値

1. 総括 産業廃棄物処理施設の維持管理における基準値超過はありませんでした。

2. 維持管理の状況に関する情報

	三島工場							可児工場								
	11号ホイラー			15号ホイラー				20号ホイラー		23号ホイラー		4号ホイラー				
1) 廃棄物の種類と処分量	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	燃え殻	紙くず
(1) 産業廃棄物の種類																
(2) 処分量 (トン/月)	6,200	0	45	4,212	86	213	76	10,781	110	4,758	0	56	2,126	974	28	9.49

2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況

(1) 燃焼ガス温度、集じん器前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度

① 燃焼ガス温度 (°C)	922	966	903	972	903
(維持管理基準) (°C)	(800以上)	(800以上)	(800以上)	(800以上)	(800以上)
② 集じん器前燃焼ガス温度 (°C)	200	201	196	185	186
(維持管理基準) (°C)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)
③ 排ガス中の一酸化炭素濃度 (ppm)	61	75	29	8	18
(維持管理基準) (ppm)	(100以下)	(100以下)	(100以下)	(100以下)	(100以下)
④ 排ガスを採取した位置	別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
⑤ 測定結果が得られた日	2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日

* 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集じん器に流入する燃焼ガスの温度、排ガス中の一酸化炭素の濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。

なお、連続測定のトレンドグラフは、三島工場及び可児工場でご覧可能です。

(2) 排ガス中のダイオキシン類濃度

① ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	0	0.0000004	0.0038	0.072	0.0059
(排出基準) (ng-TEQ/m ³ N)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)
② 排ガスの採取日	2023年4月21日	2023年6月9日	2023年7月14日	2022年7月29日	2022年12月2日
③ 排ガスを採取した位置	別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
④ 測定結果が得られた日	2023年5月26日	2023年7月12日	2023年8月29日	2022年8月30日	2023年1月23日

* ダイオキシン類濃度は、最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。

(3) ばいじん除去の実施年月日

① 冷却設備	2023年 7月29日 ～ 8月11日	2023年 9月30日 ～ 10月14日	2023年7月 1日 ～ 7月11日	2023年 8月26日 ～ 9月4日	2023年7月20日 ～ 7月21日
② 集じん器	〔 電気集じん機 連続除去 〕	〔 電気集じん機 連続除去 〕	〔 電気集じん機 連続除去 〕	〔 バグフィルター 連続除去 〕	〔 電気集じん機 連続除去 〕
③ 湿式スクラパー	2023年 8月1日 ～ 8月2日	2023年10月 2日 ～ 10月11日	2023年7月 4日 ～ 7月 9日	2023年 9月2日 ～ 9月6日	設備無し

* 記載した年月日は、冷却設備、湿式スクラパーに堆積したばいじんを除去した日を示しています。

(4)ばい煙濃度

①硫黄酸化物(K値)

最大値		0.05	0.08	0.15	0.04	2.42
平均値		0.01	0.02	0.04	0.00	0.69
(排出基準)		(6以下)	(6以下)	(6以下)	(6以下)	(11.5以下)
②窒素酸化物(濃度)						
最大値	(ppm)	153	143	176	201	233
平均値	(ppm)	133	106	153	172	168
(排出基準)	(ppm)	(300以下)	(300以下)	(250以下)	(250以下)	(250以下)
③排ガスの採取日		連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
④排ガスを採取した位置		別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
⑤測定結果が得られた日		2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日	2023年11月1日

* 硫黄酸化物(K値)は、連続測定している硫黄酸化物濃度の1時間平均値の月間最大値と平均値から算出した数値です。K値に単位はありません。

K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。

硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5)ばいじん濃度

①ばいじん濃度	(g/m ³ N)	0.001未満	0.002	0.002	0.001未満	0.006未満
(排出基準)	(g/m ³ N)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.3以下)	(0.3以下)
②排ガスの採取日		2023年10月24日	2023年10月24日	2023年10月3日	2023年10月3日	2023年10月27日
③排ガスを採取した位置		別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
④測定結果が得られた日		2023年11月6日	2023年11月6日	2023年10月5日	2023年10月5日	2023年11月10日

* ばいじん濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。

(6)塩化水素濃度

①塩化水素濃度	(mg/m ³ N)	0.5	0.3	7.6	0.9	49
(排出基準)	(mg/m ³ N)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)
②排ガスの採取日		2023年9月29日	2023年9月29日	2023年9月29日	2023年9月29日	2023年10月27日
③排ガスを採取した位置		別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
④測定結果が得られた日		2023年10月3日	2023年10月3日	2023年10月3日	2023年10月3日	2023年11月10日

* 塩化水素濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。